

令和7年度

# 日和佐中学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、生徒の主体的な学習を促す授業の実践
- 言語活動の充実を図り、思考力を高め、自己表現力・コミュニケーション能力を高める授業の実践

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
東甫 英佑	校長(総括): 影田博徳 進路主任: 橋本隼 教頭(総務): 蛇目達男 研修主任: 喜井和子

校長

影田 博徳

### 【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観やオープンクラス等、さまざまな機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能を習得するための課題にまじめに取り組むことができる生徒が多い。 ●授業や課題にはまじめに取り組んでいるものの、基礎・基本が定着していない生徒がいる。	・学習の過程を通して習得した知識・技能を、他の学習や生活の場面で活用することができる。 ・毎日の宿題や課題を確実にやり切ることができる。	・ICT等のツール(タブレットの授業用アプリ等)を有効に活用し、基礎・基本の定着を図る。 ・家庭学習の時間を確保し、宿題を確認することで生徒の定着度を把握する。			

### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○興味や関心がある学習内容について、自ら考えて豊かに表現することができる生徒が多い。 ●話すこと・書くことやテスト等の記述問題・応用問題に対して苦手意識が強い。	・目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができる。 ・探求的で粘り強く課題に取り組み、深い思考力や豊かな表現力を身につけることができる。	・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設け、思考や考察の過程における言語活動を充実させる。 ・ICT等を効果的に活用し、視覚的に内容を理解させ、生徒が興味をもち自ら考えてみようとする授業を創造する。			

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた役割や課題に真面目に取り組むことができ、宿題等の提出率も高い。 ●授業に対して受け身の姿勢の生徒が多い。また、自分から課題を見つけ学習することに課題がある。	・課題や自主学習に積極的に取り組み、学ぶ楽しさや喜びを感じることができ、自信をもつことができる。 ・多様なメディアから発信される文章や資料などから必要な情報を読み取り、学習目的に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信することができる。	・生徒の主体的な活動や体験を授業に多く取り入れ、何を・どのように学ぶのかが伝わるように、授業のめあてを提示する。 ・学習したツール等を使って、多様なメディアに触れさせ、見たり、読んだり、聞いたり、表現したりする機会を設ける。			

## 令和7年度 学力向上ロードマップ

